

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2023年度 パフォーマンス向上会議情報(2023年11月24日(金)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2023年11月24日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【H4タンクエリア(北側)A2タンク水位計の故障について】 当社運転員が、免震重要棟集中監視室の監視盤において、H4タンクエリア(北側)A2タンク水位計の指示がふらついていることを確認。 当該水位計を初期状態に戻し計測するも、ふらつきが解消しないことから、水位計の故障と判断。 隣接タンクとの連結弁が開状態であり、隣接タンクの水位が変動しないことで当該タンクの水位が変動しないことを確認できているため、水位の監視に影響はなし。 また、現地確認時に、当該タンク廻りにおける漏えいがないことを確認。 当該水位計の交換を実施し、問題がないことを確認済み。</p>	GⅢ	11月21日
2	<p>【窒素ガス分離装置(B)フィルタの粉塵化活性炭の付着について】 当社社員が、窒素ガス分離装置(B)の点検において、サイレンサ出口フィルタ、および、出口圧力調整弁フィルタより粉塵化した微量な活性炭を確認。 原因は、吸着槽内活性炭の粉塵化の初期症状と推定。 今後、吸着槽を点検し、吸着材の状況確認を実施予定。 なお、窒素ガス分離装置は(A)と(C)が使用可能であり、窒素分離機能には影響はない。</p>	GⅢ	11月20日